

大阪府下ニ於テ火藥庫ノ建設ニ適當ノ地ヲ買収スル
コトニ盡力シタリ是レ火藥類販賣業者ハ同規定ニ依リ
本年五月一日マテニ火藥庫ヲ要スレハナリ
該商社ハ今般大阪府ノ尽力ニ依リ大和川ノ河口住吉
附近ニ於テ地盤ヲ施セハ適當ノ地所トナルヘキ見込アル場
所一ヶ所ヲ見出し其ノ賣収ニ関シテハ既ニ所有者トノ間ニ
合意ノ成立ヲ見タレトモ在神戸帝國領事ノ報告ニ依
ル火藥庫建設ニ付テハ尙内務省及陸軍省ノ許可
ヲ要スル趣ナリ
就テハ目下建設期限既ニ大ニ切迫シ居ルヲ以テ外務
省ヨリ右両省ニ對シ可成速ニ許可ヲ與ヘラレル様交
渉セラルルニ於テハ帝國大使館ノ感佩スル所ナリトス

丑警保收第四云云係内

大正二年二月十六日

神奈川縣知事大島久満次

内務省警保局長岡長七郎殿

火藥類販賣業者大藥庫設備及

大藥類取扱人設定ノ義ニ付回答

六月廿日神第九三號内ヲ以テ管内ニ在ル火藥類販賣
業者ノ火藥庫設備及大藥取扱人設定ノ儀ニ關シ御
照會ノ趣ヲ承致候在ニ對シニ措置及之カ徑直左記ノ通
リニ有之候者十三日付警第二二〇四號御回答當時火藥
類販賣業者ニシテ勅令第十三条及第十四条ニ拠ル火藥庫
ノ設備及大藥取扱人ノ設定ヲ為セシ現在數ニ内外人ヲ通セ

シテ二十名有之候旨同月二十六日一應當廳警察部ニ招集シ
警察部長ヲシテ警告ヲ與ヘ自ラ相當ノ處決ヲ為スヘキ旨前
旨セシ處一ヨリ警告ニ對シ好意ヲ表シ當業者ハ大藥類專
業ニ下ルヤ又テ寧日ハ際廢業セリトスル者多數ニシテ三
ノ者、此警告健後ヲ知シ直ニ其手續ヲ履行スヘキ旨、
答申ニ付別段外國領事ヲ煩ハス必要無之被認候旨其
ハ経過ヲ使ハシ候ヤトシテ不處決ヲ為シ方日ニ至ル迄ノ結果ハ尤
表ナシ

大藥類販賣業者總數 法令ノ下候ヲ為サレ者ニシテ其現在

二十名

其ノ内譯

外國人 十二名

内譯 十三名

廢業兩出

二名
一名

他ノ建設ニハ大藥庫ト共同使用出願
營業健康意向ニシテ他ニ建設ニハ大藥
庫ト共同使用ノ許可ヲ得テト目下之
カ手續中

小計 十六名

内國人 五名

内譯 一名

大藥庫建設出願

三名
一名

手續ヲ為サレテ行斷不明ニ付營業
許可取消ニ關スル處方手續中

小計 五名

右計二十一名
以上、皆大伴解決相成不日了可相成豫定也
此段五回答候也

大正二年六月六日

警保局長
警務課長

神奈川縣知事、照會案
警神第九二第

年 月 日 警保局長

火藥類販賣業者、火藥庫建設^備火藥類
取扱人設定、件

六月十三日付警神第九二四第ヲ以テ本件ニ関シ及回答置ル

60

文部課長
五月三十一日
警務課長

警務課長

火
車
山

第

年 月 日
警保局長

我

大藥類販賣業者、大藥庫設備及大藥類取扱人設定之関係件回答

本件に關し客月二十九日廿五發保奏第一御下照會

處中越、通、勅令第十三条及第十四条及行爲一
同令第四十五条之依り、處罰之（キ）に付、又等速及者に依
り、第五條之依り、左の通り、處罰を以て營業、許可取消又は否
得ん次第に候得共、今一應領事、御協議、上各當事者、之等
告り加へ、本人自ら相當處理を行はしむ、標相當御措置相成
度、若し右警告有之、拘はらる連、火藥庫建設、出願ヲ為
サルカ、又ハ廢業ノ届出ヲ為サルカ、爲行政及司法、處方ヲ行ハ
ルハキトキハ、前以て本省、指揮ヲ受ケラレ候標、致度外務省、
希望モ有之、此段、不回答候、火藥類販賣業者、之等共同
火藥庫ヲ設備シタル場合、火藥類取扱人、他、販賣業者
ト業務シ、若シ又、之候得共、火藥類貯藏以外、他、之取扱、
付業務セシムハキヤ否ハ、各場合ニ付判定候外、致方無之ト
存候

丑 警保 第五一 附

大正二年四月二十九日

神奈川縣知事 大島久滿次

内務省警保局長 岡茂七郎殿

火藥類販賣業者、大藥庫設備、火藥取扱人

設定、之國、之儀、之付照會

銃砲火藥類取付法施行規則第十三条及第十四条、規程
七、レ候、火藥類販賣業者、大藥庫設備、火藥取扱
人設定、件ハ、同令附則ニ依リ、之年間、猶豫相成、居候處
未、五月、一日、之、安施、之付、之、九、記、事項、取扱、振、之、何
分、御、意見、承知、致度、至急、御、回答、相願、レ、度、此、段、之、照
會、候、也

一、從前、免許、ヲ、受、ケ、ル、現在、火藥類販賣業者、ニ、レ、テ

火藥庫ノ設備又ハ火藥類取扱人ノ設定ヲ為サシ者ハ
取締法第五條ニ依リ其ノ許可ノ取得又ハ停止處方ヲ要
スルモノト被認候得共實際降直々ニ之ヲ措置ヲ為
可然ヤ

一 管下火藥庫設備状況ハ本年三月一日付警発第三三
師ニ付テ回答シタリ

二 火藥類取扱業者ノ件ニ付ハ火藥類取扱人ハ其ノ販売
業者トシテ共同火藥庫ヲ設備シタル場合ニ限リ他ノ販
売業者ト業務ヲ得ルモノナクヤ否ヤ

丑 警保収第三二七師

大正二年三月一日

神奈川県警部大島久満次
内務省警保局長岡長七郎殿

本月二十二日付警発第三三師ヲ以テ火藥庫設備ニ関シ御
照會ノ趣ノ承致候旨管下ニ於テ其ノ実況ヲ如シ
一 火藥類取扱業者ノ銃砲火藥類取扱資格施行規則第十三
條ニ依リ火藥庫ヲ備フモノハ該規則発布ノ當時該
業者ハ該規則ニ加テ置候無キモノカ設備シタル資本金ヲ要
シ該資本金額ハ該規則ニ依リ市街地附近ニ於テ火藥類
ノ取扱セシメ置候モノ等事情下リ火藥庫ノ設備シタル
モノハ既ニ水廻り許可ヲ受ケタルモノト被認候

一、橫濱市

設備完成所

牛邦人、華商三名共同

俱外國一系培養之共同性質也蓋自下而中

設備許可と建設工事中小企業者に対する優遇

從備時可ヲ孝クん毛建後看手也カ毛

但し多額費用ヲ要ス有テ斯レキモノナラバ

郡部

設備完了所

本邦人

設備即可受令建設事務所

本邦人名

計既授于所

工事中 所

許可事務中止を件

在事者四月末日一二談成豫定有之候其他必藥

商、建設也。廿二、本年三月、大藥商已資格ヲ

失己營業者多數ヲ見ハシト豫則セシ候

右及田各候也

大正二年五月一日

警保局長

警務課長

長崎神奈川兵庫縣知事ニ照會案

警神第九二號の

年月日 警保局長

宛

大葉類販賣業者に其内外國人ノ如何ニ拘ハラス大葉庫ノ設
備ヲ要スルヲ志シ左尚同設備ヲ為サシ者有之趣ニ付其
氏名甲乙ニ列申出相致度且販賣業者別ニ大葉庫建
設者類ニ事案他府ニナカリヤ又願出アリスモ許可ヲ得サレ

多シルヤ又建設敷地搜索中ナリヤ等実況詳細御申越相
成度候

進テ事件ニ至急ヲ要スル次第ニ付折返御回報相成度ハ

大正二年五月七日
警務局長
警務課長

大臣

次官

外務次官ニ照會案

第

第

年月日 内務次官

宛

大華類販賣業者營業禁止處方ニ関スル件

大華類販賣業者ニ就テ大華類販賣店施行規則第十三
条ニ依リ大華庫備ヲ屬シ同第十四条ニ依リ大華類販賣

省

人ヲ定メテ大藥類ノ取扱ヲ爲セシムルニ有之
明治四十四年五月一日以後二年間ニ之ヲ適用
備フ者之ヲ準備期間トシ之ニ目下右期間ニ経過セタルニモ拘
ラズ神奈川縣下ニ在ル外國人ニシテ大藥庫ノ設備ヲ爲セ
者十九名ノ多キニ達シ其ノ他兵庫縣及長崎縣ニ在ル外國商
人ヲ加フルトモ多數ニ上ルナラント推測セラル候也
三章及第十四章ノ趣及行方ハ同規則第四十條ニ依リ處罰セ
ルニテ義ニ有之加之此等者及者ハ銃砲大藥類販賣
五章ニ依リ法令違反ノ處罰ヲ受ル可キ者トモ有之
第二節ニ有テ是レ同條國大使及公使ニ對シ自國商人
趣及ノ方針ハ法令ニ至ラズ先據連ニ相商處置ヲ可
煩ニ度ハ重要事項ト認メ同條地方官及ニ在リ
天有之次第ニテ各商人等其意向ヲ若大公使
ニ申出テ申渡シ

二回報相候様御配慮相煩度申進候